

1回15分で

英語を読み書きする力が  
どんどん身につく



## 解答 & 教師用指導書

### この教材について

『英語の読み書きドリル』は、学習したことを試すための教材ではありません。本書に取り組む過程で、アルファベット、ヘボン式ローマ字、音とつづりの関係について学習し、身につけていくことを目的としています。

本書を指導することを通して、先生方にはアルファベット、ヘボン式ローマ字、音とつづりの関係について知り、英語力やそれらを指導する力を養っていただきたいと思っています。この教師用指導書を参考に、発音のポイントについて知ったり、15分を効果的に活用するための時間配分をしたり、添削や評価のしかたについて工夫したりしましょう。

### この教材の使い方



- 机間指導をしっかり行い、まちがいがやすい文字をチェックしたり、個人の書き方の癖を指導したりしましょう。
- 答え合わせは○×をつけるにとどまらず、児童に深く理解させられるよう丁寧に指導しましょう。
- 友達とチェックさせ合うときは、お互いに本を交換させ、気付いたことを伝え合わせたり、問題を出し合わせたりすることで、児童に「みんなで楽しく学習し、スキルを身につける」という意識を持たせることが効果的です。
- 「終わったらやろう」は、各大問で早く終わってしまった児童のための追加問題としてお使いください。

# TIME SCHEDULE

0	あいさつ・この教材の使い方	3分
5	大問 1 (・2)	9分
10		
15	友達とチェック	2分
	まとめ	1分

指導の手順  
① この教材の活用方法について話す (指導書 p.1 参照)

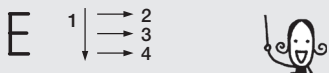
② A/a から Z/z までの発音を確認する

- A: 「エー」ではなく「エイ」。
- F: 「フ」は下唇を軽く噛んで息を出す。少し長めに息を出して練習させる。
- J: 「ジェー」ではなく「ジェイ」。
- K: 「ケー」ではなく「ケイ」。

③ 大問 1 をさせる

### 声のかけかた

アルファベットは、上から下(↓)、左から右(→)に書くのが基本です。



小文字はより丁寧に指導する。

b: 大文字の B の上の部分が消えた形。 ]→ B

d: a の背が高い形。

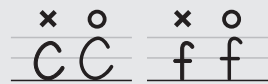
h: 大文字の H の上の部分が消えた形。 ]→ H

g j p q y :

一番下の線までしっかり伸ばす。

### 声のかけかた

4 線とぶつかるところまで、しっかり大きく書きましょう。



また、見た人が読みやすい、きれいなアルファベットを書くために、書き順にも気を付けましょう。



V は、一筆で書くと大文字の場合は U, 小文字の場合は r に似た形になってしまいやすいため、2 画に分けてしっかり書きましょう。

## Alphabet 1

### 大文字・小文字を書こう

Aa から Zz のアルファベットを正しく書けるようになる。書き順と書く位置に気をつけよう。

1 大文字と小文字を、お手本のとなりに 1 回ずつ書こう。



「B と b は同じ向き」と覚えよう

d は a の背が高い形だよ



下の段も使うよ

h は背もたれのあるイスのような形

ひらがなの「し」と反対の向きだよ



h とちがって背もたれがないよ



下の段も使うよ

数字の「9」に似てるね

小文字だけしっぽがあるよ



大きさのちがいを、はっきりさせよう

終わったらやろう

2 Aa ~ Zz まで、大文字と小文字を合わせて書いて練習しよう。

Blank lines for handwriting practice.

2

NOTE to SELF | 指導するなかで思いついたことをメモしておきましょう

Dotted lines for taking notes.

# Alphabet 2

## 小文字を高さ別に整理しよう

アルファベットの小文字の「高さのちがいを」理解し、正しい位置に書けるようになろう。

Date: / /

1 お手本を見ながら、ていねいに書こう。

① 中央の段だけを使う文字

せまいところに、きれいに書こう


② 上2段を使う文字

上の線にしっかりぶつかるように

--	--	--	--

③ 下2段を使う文字

--	--	--	--

④ 中央の段+上の段に少し飛び出る文字

--	--	--	--	--

⑤ 下2段+上の段に少し飛び出る文字

--	--	--	--	--

こんな風になってない？

終わったたらやろう

2 高さに気をつけて小文字を書こう。

まずは、ていねいにぞろう

NOTE to SELF | 指導するなかで思いついたことをメモしておきましょう

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---

# TIME SCHEDULE

0	あいさつ・今回のめあて	2分
5	大問1	6分
10	友達とチェック	3分
15	大問2	3分
	まとめ	1分

指導の手順

## ① 大問1をさせる

- アルファベットには「高さのちがう文字」があることに気付かせ、それぞれを理解させる。
- 高さに気を付けて、丁寧にきれいに書かせる。
- 机間指導をしながら、雑に書いている児童、癖のある文字を書いている児童に、しっかり丁寧に書くよう指導する。

× × × × × ×

## ② 友達とチェックさせ合う

残り7分になったら、近くの友達と本を交換させ、チェックさせ合う。

**声のかけかた**

丁寧にマルつけをして、友達がまちがったところや気付いた癖などを伝えてあげましょう。

## ③ 時間があれば 大問2をさせる

時間があれば、大問1を参考に、高さに気を付けてaからzまでを書かせる。答え合わせは不要。

## ★ ABC SONG ♪ を歌ってもよい

# TIME SCHEDULE

0	あいさつ・今回のめあて	2分
5	大問 1	5分
	先生と答え合わせ	2分
10	大問 2 (・3)	3分
	友達とチェック	2分
15	まとめ	1分

指導の要点

## 1 大問 1 をさせる

- ①～⑩の単語を確認する。
- 4 線の正しい位置にきれいに書き写すことを確認してから始めさせる。
- 机間指導をしながら児童のまちがいを正す。
- 4 分経ったら本を友達と交換させ、担任が黒板に書く文字をしっかりとチェックさせる。黒板に引いた4線(もしくは1線)の上に、正しい書き順でお手本を書きしていく。

pet または pet

### 声のかけかた

①の p や ③の g は一番下の線まで伸びていますか？ ⑤の h のタテ棒はきちんと一番上から書けていますか？ n のようになっていませんか？

pet bag white

友達のためによく見てチェックしましょう。気付いたことは一言書いてあげましょう。



## Alphabet 3

### 単語を書こう(1)

小文字を正しい位置に書くことができるか確認しよう。

1 次の単語を、4 線に合うように正しく書き写そう。

① pet



pet

② milk



milk

③ bag



bag

④ sun



sun

⑤ white



white

⑥ flower



flower

⑦ magnet



magnet

⑧ piano



piano

⑨ jacket



jacket

⑩ dragonfly



dragonfly

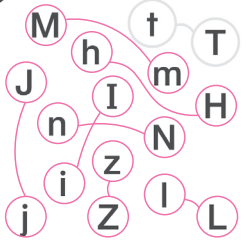
⑪ computer



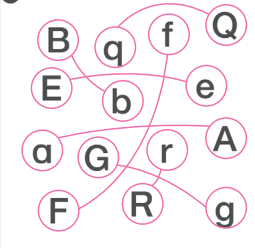
computer

2 大文字と小文字のペアを見つけて○で囲み、——で結ぼう。

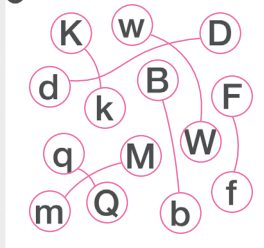
①



②



③



終わったらやろう

3 1の単語を書き写そう。

NOTE to SELF | 指導するなかで思いついたことをメモしておきましょう

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

## 2 大問 2 をさせる

- ①, ②, ③ を 3 分程度で行わせる。

## 3 友達とチェックさせ合う

近くの友達と本を交換させ、お互いにチェックさせ合う。



### 大文字・小文字をおさらいしよう(1)

Date: ○ / ○ / ○

先生や友達と言うアルファベットの音を聞いて、正しいアルファベットが書けるようになる。相手に伝えるアルファベットの発音ができているか確認しよう。

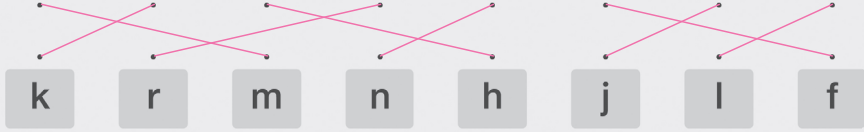
1 ABC SONG ♪ を歌おう。

2 先生が言ったアルファベットを大文字で書き、ペアの小文字と—で結ぼう。

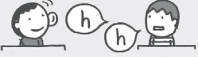
1 G	2 A	3 L	4 M	5 Q	6 V	7 D	8 B
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----



9 M	10 K	11 H	12 R	13 N	14 F	15 J	16 L
-----	------	------	------	------	------	------	------



3 友達が言ったアルファベットを大文字で書き、ペアの小文字と—で結ぼう。

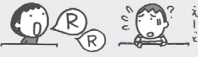


問題を出す人は、下に書いてある小文字の中からアルファベットを選び、はっきりと2回くり返して言ってあげよう。1問ずつ交互に出し合おう。

1	2	3	4	5	6	7	8
---	---	---	---	---	---	---	---



4 友達が言ったアルファベットを○で囲もう。



問題を出す人は、2つのアルファベットのうち好きなほうを選び、はっきりと2回くり返して言ってあげよう。1問ずつ交互に出し合おう。

1 K A	2 L M	3 S F	4 T D	5 B V
-------	-------	-------	-------	-------

6 G Z	7 B T	8 E F	9 R L	10 M N
-------	-------	-------	-------	--------

NOTE to SELF | 指導するなかで思いついたことをメモしておきましょう

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

## TIME SCHEDULE

0	あいさつ・今回のめあて	2分
	ABC SONG を歌う	1分
5	大問 2・先生と答え合わせ	5分
10	大問 3・4 ・友達とチェック	6分
15	まとめ	1分

指導の手順

① ABC SONG ♪ を歌う

② 大問 2 をさせる

- (1) 指導書の解答部分に書かれているアルファベットを順に読み上げ、児童に大文字を書かせ、ペアになる小文字と線で結ばせる。

出題のしかた



Number one. G[dʒi:] G[dʒi:]. Write the letter and draw a line to the small letter. OK?

数秒

Now, number two. A[éi]. A[éi].

- (2) ①～⑧が終わったら、答え合わせをする。

答え合わせのしかた



“Number one. What alphabet?” とたずね、黒板に大文字を書く。その下に小文字を書き、正しく線で結べているかを確認させる。

- (3) ⑨～⑯も同様に行う。

③ 大問 3 をさせる

- 友達とお互いに1つずつ問題を出し合うよう指示する。

指示のしかた



例えば、問題を出すほうの人が“Number one. N. N.”と言ったら、出されたほうの人も出したほうの人も、①の解答欄に大文字でNと書き、小文字のnと線で結びましょう。⑧まで出来たらお互いにチェックしましょう。

④ 大問 4 をさせる

- 同じ要領で、お互いに問題を出させる。



# Break Time 1

Date: / /

アルファベットビンゴゲームをして楽しもう。アルファベットを書いたり言ったりできるように  
なつたと実感しよう。

1 ビンゴゲームをしよう。

① [ ] の大文字と小文字のペアを好きな場所に入れて、ビンゴカードを準備しよう。

- Aa Bb Cc Dd
- Ee Ff Gg Hh
- Ii Jj Kk Ll
- Mm Nn Oo Pp
- Qq Rr Ss Tt
- Uu Vv Ww Xx
- Yy Zz

BINGO

Tt	Gg	Mm	Zz	Kk
Ee	Ll	Qq	Ww	Jj
Bb	Aa	Rr	Cc	Yy
Ff	Xx	Oo	Ii	Nn
Vv	Pp	Hh	Dd	Uu

[記入例]

Ss



② 友達とじゃんけんをして、勝った人は負けた人に好きなアルファベットを聞こう。負けた人が答えたものが自分のビンゴカードにあれば、それを○で囲もう。

Rock, scissors, paper,  
one, two, three!!



I like Z.

What alphabet  
do you like?

「色」は英語で  
colorですよ

2 1と同じやり方でビンゴゲームをしよう。

- red pink
- orange yellow
- white blue
- green purple
- black gray
- silver gold

BINGO

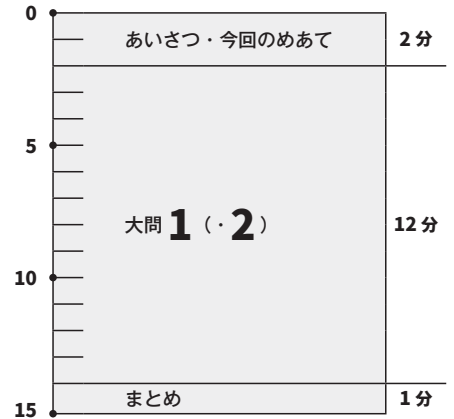
yellow	silver	purple
white	pink	gray
gold	orange	blue

[記入例]

NOTE to SELF | 指導するなかで思いついたことをメモしておきましょう



# TIME SCHEDULE



指導の手順

## 1 大問 1 をさせる

- ビンゴカードを準備させる。  
(1) ビンゴカードに、適当なアルファベットを選んで書き込ませる。

声のかけかた

1 つの枠の中に、大文字と小文字の両方を書きましょう。

×	○
A a	d D
c C	B b

- カードの枠数が 25 であるのに対してアルファベットは 26 があるため、使わなかったペアが 1 つ出てくる。それを選択肢の下にある枠の中に書くよう指示する。

② ビンゴゲームをさせる。

- 児童に、教室内を歩き回りながら友達とビンゴゲームをするよう指示する。
- 時間がきたら着席させる。
- クラスに向かって、何列ビンゴできたかをたずね、一番多かった児童がチャンピオンとなる。

声のかけかた

How many Bingos did you get?  
One? Good!  
Two? Good Job!  
Three? Wow! Great!  
Four? You're the champion!!

## 2 大問 2 をさせる

時間があれば、同じ要領で大問 2 を行う。





### 単語を書こう(3)



大文字と小文字を自由に使いこなせるか確認しよう。

Date: ○ / ○ / ○

1 大文字を小文字にかえて書こう。

①  SUN sun	②  ONION onion	③  MUSIC music
④  ANT ant	⑤  RAIN rain	⑥  HORSE horse
⑦  JELLYFISH jellyfish	⑧  NOTEBOOK notebook	
⑨  COMPUTER computer	⑩  BUTTERFLY butterfly	

2 大文字と小文字を——で結ぼう。□にはペアとなる大文字か小文字を書こう。

① e W g G w E m M	② A d D n N a H h	③ K l L k I b B i	④ b R a B r T t A
⑤ q G n I i N g Q	⑥ F m J f M r R j	 	

NOTE to SELF | 指導するなかで思いついたことをメモしておきましょう

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

## TIME SCHEDULE

0	あいさつ・今回のめあて	2分
5	大問 1	7分
10	友達とチェック	2分
	大問 2	2分
	友達とチェック	1分
15	まとめ	1分

指導の手順

### 1 大問 1 をさせる

- ①～⑩の単語の意味を確認する。
- ①～⑩までまとめて書かせてから答え合わせをするか、途中で止めながらするかは、児童の様子によって判断する。
- 机間指導をしながら、書く場所・書き順をチェックしてまわる。

声のかけかた

小文字の b と d は、向きをまちがいがやすいのでよく注意しましょう。

【特にまちがいがやすい文字】

x o	x o	x o
l i	g g	p p
x o	x o	
f f	h h	

- 友達と本を交換させ、お互いにチェックさせる。

声のかけかた

小文字は、大文字とちがって文字によって書く位置がちがうので、ゆっくり丁寧にマル付けをしてあげましょう。気付いたことがあれば、コメントを書いてあげましょう。

### 2 大問 2 をさせる

- ①～⑥まで終わったら、近くの友達と答え合わせをさせる。



# TIME SCHEDULE

0	あいさつ・今回のめあて	2分
5	大問 1	5分
10	大問 2	7分
15	まとめ	1分

指導の手順

## 1 大問 1 をさせる

- ①～⑥の単語の発音と意味を確認する。
- それぞれの単語を小文字で書きかえたら、右のバズルの中からそれらの単語を探して〇で囲むよう指示する。
- 黒板に4線(または1線)を引いて①～⑥の単語を小文字で書き、児童が正しく書けているか確認させる。
- 正しく〇で囲めているか、近くの友達とお互いにチェックさせる。

## 2 大問 2 をさせる

- 5つの単語を確認し、指示に従ってパズルを作らせる。机間指導をしながら児童を支援する。

### 声のかけかた

タテ、ヨコ、ナナメのどの向きに書いても構いませんが、単語が途中で曲がったり、右から左に書いたりはいないようにしましょう。

s				
t	a	r		
t	r	a	e	h

- できた児童から友達と本を交換させ、問題を解かせ合う。
- (2)が終わった児童には、まだ出来上がっていない友達の手伝いをするよう伝える。

# Break Time 2

Date:  /

単語探しゲームに挑戦しながら、アルファベットを使いこなそう。

1 ①～⑥の単語を小文字に書きかえてから、それを見つけて〇で囲もう。

- HOT → hot  
[hɑ:t] 暑い, 熱い
- COLD → cold  
[kəʊld] 寒い, 冷たい
- HAPPY → happy  
[hæpi] 幸せな
- HUNGRY → hungry  
[hʌŋɡri] 空腹の
- SAD → sad  
[sæd] 悲しい
- SLEEPY → sleepy  
[sli:pi] 眠い

s	a	d	a	d	o	l	t
r	h	q	l	n	u	h	q
i	m	o	c	k	a	u	c
y	c	g	t	p	l	n	g
a	w	h	p	e	s	g	m
s	p	y	e	a	e	r	c
g	s	l	e	e	p	y	f
k	n	a	d	s	i	s	x



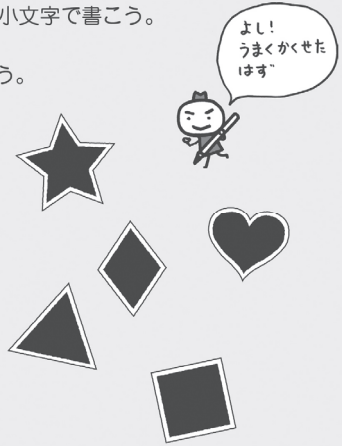
2 パズルを作って友達と遊ぼう。[dai(ə)mənd] ひし形 [skwéər] 四角形, 正方形

① 次の5つの単語を好きな□に1文字ずつ書こう。

star [stɑ:r] 星形 heart [hɑ:t] ハート形 diamond [daɪənd] ひし形 triangle [traɪəŋɡl] 三角形 square [skwɛər] 四角形, 正方形

② 残りの□にいろいろなアルファベットを小文字で書こう。

③ 本を友達と交換して、①の単語を見つけよう。

## NOTE to SELF | 指導するなかで思いついたことをメモしておきましょう

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---

# アルファベットのまとめ

Date: ○ / ○

これまでに習ったアルファベットの注意事項を思い出しながら、きれいにアルファベットを書けるようになったことを確認しよう。

**1** アルファベットをていねいに書こう。

① 大文字 (A から Z まで)

A B C D E F G H I J K L M

N O P Q R S T U V W X Y Z

② 小文字 (a から z まで)

a b c d e f g h i j k l m

n o p q r s t u v w x y z

**2** 1 のアルファベットが正しく書けているか、先生といっしょに確認しよう。

①

書く位置に気をつけて一筆で書こう。

②

向きに気をつけよう。b は大文字の B と同じ向き。d は a の背が高くなった形。

③

向きに気をつけよう。p は大文字の P と同じ向き。q は数字の「9」に似た形。

④

背の高さや止める位置に気をつけよう。h は背もたれのあるイス、n は背もたれないイス。

⑤

線と字がぶつかるように、のびのび書こう。

⑥

大文字と小文字の大きさがいい具合に気をつけて、はっきり書こう。

**3** 先生が言ったアルファベットを書こう。

大文字		① W	② D	③ M	④ F	⑤ L	⑥ V	⑦ R
小文字		① n	② b	③ f	④ g	⑤ q	⑥ d	⑦ e
?		① X	② h	③ N	④ a	⑤ G	⑥ m	⑦ Y

**NOTE to SELF** | 指導するなかで思いついたことをメモしておきましょう

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



## TIME SCHEDULE

0	あいさつ・今回のめあて	2分
5	大問 1・友達とチェック	4分
10	大問 2	3分
15	大問 3	5分
	まとめ	1分

指導の手順

### 1 大問 1 をさせる

声のかけかた

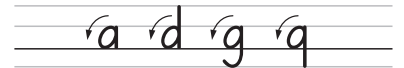
今日でアルファベットの学習は終わりです。しっかり復習しましょう。

- (1) 大文字と小文字を丁寧に書かせる。
- (2) 友達とお互いにチェックさせ、気付いたところを伝え合わせる。

### 2 大問 2 を児童と一緒に確認する

まちがいやすい文字を、①～⑥まで一つずつ確認していく。

- ① 書き始めの向きがすべて同じだということに気付かせる。



- ④ 曖昧に書いた文字を黒板に示し、「これでは、どのアルファベットを書いたつもりなのかわかりませんね」と言いながら注意を促す。
- ⑥ 特にいい加減に書いてしまいがない文字なので、よく注意させる。

### 3 大問 3 をさせる

3 段目を出题する際は、「大文字の X」「小文字の h」のように伝える。児童を前に出して黒板に書かせてもよい。

# TIME SCHEDULE

0	あいさつ・今回のめあて	2分
5	大問 1 (ローマ字についての説明)	8分
10	大問 2	4分
15	まとめ	1分

指導の手順

## ① ヘボン式ローマ字について説明する

- (1) [ ] の囲みの内容を説明する。
- (2) 例として「土田」という姓を黒板に書き、具体的に理解させる。

### 声のかけかた

国語で習った書き方で書くと「Tutida」になりますが、外国人がこれを読むと「トゥティダ」になってしまいます。「ツ」の音には「s」の音が隠れていますよね。だから「tsu」となります。

- (3) 赤ペンやマーカーで、ヘボン式で変わるローマ字に印をつけさせる。  
(表の中の、色が薄くなっている文字)

## ② 「ローマ字を書くときのルール」を説明する

## ③ 大問 2 を書かせる

ヘボン式ローマ字できちんと書けているか、机間指導をする。

### 声のかけかた

「ゆか」も「ゆうか」も、ローマ字で書くと「Yuka」になります。自分の名前の正確な読み方を相手に伝えたいときは、Please call me “Yu-u-ka.” と言うといいですよ。

## ㊦ Romaji 1

### ローマ字を学ぼう

Date: / /

ローマ字とは何のためにあるか、ヘボン式ローマ字を書くときのルールは何かを知ろう。

ローマ字は、日本の人名や地名、日本固有のものを英語で書くときに使います。ローマ字には訓令式とヘボン式の2種類の表記法があります。

- ▶ 訓令式 : 小学校国語で習った表記法
- ▶ ヘボン式 : 外国人にも読みやすい表記法



1 「50音のローマ字表(ヘボン式)」を見ながら、先生とっしょにローマ字を確認しよう。

a	ア	i	イ	u	ウ	e	エ	o	オ								
ka	カ	ki	キ	ku	ク	ke	ケ	ko	コ	kyā	キャ	kyū	キュ	kyō	キョ		
sa	サ	shi	シ	su	ス	se	セ	so	ソ	shā	シャ	shū	シュ	shō	ショ		
ta	タ	chi	チ	tsu	ツ	te	テ	to	ト	chā	チャ	chū	チュ	chō	チョ		
na	ナ	ni	ニ	nu	ヌ	ne	ネ	no	ノ	nyā	ニャ	nyū	ニュ	nyō	ニョ		
ha	ハ	hi	ヒ	fu	フ	he	ヘ	ho	ホ	hyā	ヒャ	hyū	ヒュ	hyō	ヒョ		
ma	マ	mi	ミ	mu	ム	me	メ	mo	モ	myā	ミャ	myū	ミュ	myō	ミョ		
ya	ヤ			yu	ユ			yo	ヨ								
ra	ラ	ri	リ	ru	ル	re	レ	ro	ロ	ryā	リャ	ryū	リュ	ryō	リョ		
wa	ワ																
ga	ガ	gi	ギ	gu	グ	ge	ゲ	go	ゴ	gyā	ギャ	gyū	ギュ	gyō	ギョ		
za	ザ	ji	ジ	zu	ズ	ze	ゼ	zo	ゾ	ja	ジャ	ju	ジュ	jo	ジョ		
da	ダ	ji	ヂ	zu	ヅ	de	デ	do	ド								
ba	バ	bi	ビ	bu	ブ	be	ベ	bo	ボ	byā	ビャ	byū	ビュ	byō	ビョ		
pa	パ	pi	ピ	pu	プ	pe	ペ	po	ポ	pyā	ピャ	pyū	ピュ	pyō	ピョ		

色のうすいところは、国語で習った表記法(訓令式)とちがうところです。  
訓令式でも「du」ではなく「zu」と示されている場合が多いため、ここでは色を薄くしていません。

### ローマ字を書くときのルール

#### はねる音「ン」

n で表します。ただし b, p, m の前では m で表します。

例 manga (漫画)  
shimbun (新聞)

#### つまる音「ッ」

子音を重ねて表します。ただし ch の前では tch となります。

例 Sapporo (札幌)  
matcha (抹茶)

#### のはず音

母音の上に「ハ」または「フ」をつけて表しますが、ふつうは省略します。

例 zoni (雑煮)  
rāmen (ラーメン)

#### 人名・地名・国名など

最初の文字を大文字で表します。

例 Okinawa (沖縄)  
Japan (日本)

2 上のローマ字表を参考に、自分の名前や友達の名前をヘボン式ローマ字で書こう。

[例] Yamazaki Daichi

[例] Kajimoto Shota

[例] Nakayama Shiho

[例] Fukatsu Haruka

### NOTE to SELF | 指導するなかで思いついたことをメモしておきましょう

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

Romaji 2

ローマ字を書こう

Date:  /

ヘボン式ローマ字で、自分の名前・日本の有名な地名・日本のものを表す語などを書けるようになろう。

1 国語で習った表記法(訓令式)とちがう書き方を  
する文字を確認し、2回ずつ書こう。

読み方	シ	チ	ツ	フ	ジ	ヂ	シャ	シュ	ショ
訓令式	si	ti	tu	fu	zi	ji	sha	shu	sho
ヘボン式	shi	chi	tsu	fu	ji	ji	sha	shu	sho
	shi	chi	tsu	fu	ji	ji	sha	shu	sho

読み方	チャ	チュ	チョ	ジャ	ジュ	ジョ
訓令式	tya	tyu	tyo	zya	zyu	zyo
ヘボン式	cha	chu	cho	ja	ju	jo
	cha	chu	cho	ja	ju	jo



人の名前や地名・国名は大文字で書き始めるよ

2 次の日本語をヘボン式ローマ字で書こう。

① 自分の名前

[例] Sugiyama Yosuke

② 担任の先生の名前

[例] Akita Yuko

③ 東京

Tokyo

④ 京都

Kyoto

⑤ 浅草

Asakusa

⑥ 日本

Nippon

⑦ 柔道

judo

⑧ 空手

karate

⑨ さしみ

sashimi

⑩ すし

sushi

NOTE to SELF | 指導するなかで思いついたことをメモしておきましょう

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

TIME SCHEDULE



指導の手順

1 大問1を書かせる

- (1) 左ページのローマ字表を見ながら、ヘボン式ローマ字を復習する。
- (2) 訓令式とヘボン式で異なる表記をする文字を確かめながら、2回ずつ書いて練習させる。

2 大問2を書かせる

- (1) ①～⑩までまとめて書かせてから答え合わせをするか、途中で止めながらするかは、児童の様子によって判断する。
- (2) 机間指導をしながら、書く位置・書き順・ヘボン式表記をチェックしてまわる。



# TIME SCHEDULE

0	あいさつ・今回のめあて	2分
5	大問 1	4分
10	大問 2 (カード作り 3分) (3分) (ビンゴゲーム 5分) (5分)	8分
15	まとめ	1分

## 1 ハロウィンについて説明する

キリスト教の教派の1つであるカトリック教会において、11月1日は「諸聖人の日(万聖節)」と定められており、日本でいう「お盆」のように、死者の魂がこの世に戻ってくるとされている。その際に、悪霊や魔物も一緒にやってくると考えられているため、それらを追い払うために、諸聖人の日の前夜(10月31日)にランタン(提灯)をつけたり怖いものに仮装したりするのが習わしとなっている。

Hallowは「聖人」のことで「諸聖人の日」をAll Hallow's Dayといい、その「前夜(even)」という意味のHallow's evenが短縮されて、現在はHalloweenとなっている(諸説あり)。

## 2 大問1をさせる

- (1) それぞれの単語の発音を確認する。
- (2) 絵と単語を線で結ばせる。
- (3) みんなで答え合わせをする。

## 3 大問2をさせる

- (1) 大問1で扱った単語を使ってビンゴカードを作成させる。
- (2) ②に沿って活動させる。

声のかけかた

“What Halloween character do you like?” “I like ~.” のように会話をしましょう。

- (3) 時間がきたら着席させ、全部で何方向にそろったかを確認する。

声のかけかた

How many Bingos did you get?  
One? Good!  
Two? Good Job!  
Three? Wow! Great!  
Four? You're the champion!!

# Break Time 3

Date:     /     /

ハロウィンに関連する言葉を読んだり書いたりしよう。

1 次のハロウィンに関する絵と単語を——で結ぼう。

	bat	vampire	
	[bæt] コウモリ	[væmpaɪə] 吸血鬼	
	lollipop	witch	
	[lɒlɪpɒp] 棒付きの飴	[wɪtʃ] 魔女	
	ghost	mummy	
	[ɡəʊst] 幽霊	[mʌmi] ミイラ	
	spider	skeleton	
	[spɑɪdə] クモ	[skelətŋ] 骸骨	
	black cat	candy	
	[blæk kæt] 黒ネコ	[kændi] キャンディー	
	jack-o'-lantern		
	[dʒækəlæntərn] ハロウィンの方ポチャの提灯		

2 ビンゴゲームをしよう。

① 1の単語のうち9つを好きな場所に入れて、ビンゴカードを準備しよう。

## BINGO

vampire	spider	lollipop
skeleton	ghost	bat
candy	witch	black cat

【記入例】

② 友達とじゃんけんをして、勝った人は負けた人に好きなキャラクターを聞こう。負けた人が答えたものが自分のビンゴカードにあれば、それを○で囲もう。

Rock, scissors, paper, one, two, three!!

What character do you like?

I like a black cat.

NOTE to SELF | 指導するなかで思いついたことをメモしておきましょう

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....







# 母音を聞きとろう (3)

Magic e の役割を知り、法則にしたがって読んだり書いたりしてみよう。





Date:    /    /   

「Magic e」って? eは発音しないよ

しん 子音 + 母音 + 子音 + e

マジック e の力で、前にある母音はアルファベット読みになります。



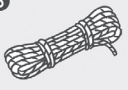






アルファベット読みって?  
A/a をエイ、U/u をユー、O/o をオウト読む読み方のこと


mat	[mæt]	マット	
mate	[méit]	仲間	
cut	[kát]	切る	
cute	[kjút]	かわいい	

## 1 先生といっしょに発音してみよう。

snake	five	rose	June
note	cake	smile	grape

## 2 発音を聞いて、a, e, i, o, u のいずれかを    に書こう。

 name [n][ei][m][---]	 like [l][ai][k][---]	 rope [r][ou][p][---]
 fire [f][ai][r][---]	 cube [k][ju:][b][---]	 kite [k][ai][t][---]
 nose [n][ou][z][---]	 time [t][ai][m][---]	
 pencil case [k][ei][s][---]		

先生の発音をヒントに考えよう 

NOTE to SELF | 指導するなかで思いついたことをメモしておきましょう

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

# TIME SCHEDULE

0	あいさつ・今回のめあて	2分
5	Magic e についての説明	5分
10	大問 1	2分
15	大問 2・先生と答え合わせ	5分
	まとめ	1分

指導の手順

## 1 Magic e について説明する

Magic e とは、単語の末尾にあつて発音しない e のこと。直前の母音をアルファベット読みに変化させる役割を持っている。

※ e で終わる単語すべてがこの法則に当てはまるわけではない。

- アルファベットの文字には「アルファベット読み」と「音読み」があることを再確認する。
- 「『Magic e』って?」の解説部分を使って Magic e について説明する。

## 2 大問 1 をさせる

児童に読み方を考えさせながら、1 つずつ進めていく。

### 声のかけかた

1 つ 1 つの文字を声に出して読んでいきましょう。(黒板に snake と書き) 最初の s は [s], 次の n は [n], そしてその次の母音 a は最後に Magic e があるから [æ] ではなく [ei], そのあとの k は [k], そして最後の e は発音しませんね。だからつなげて読むと [s] [n] [ei] [k] で「スネイク」ですね!

## 3 大問 2 をさせる

- DVD で ①～⑨ の単語をすべて聞かしてから、DVD を一時停止して答えを書かせる。
- 机間指導をしながら、担当が 1 文字ずつ音読みで発音して聞かせる。  
(② の場合 [l] [ai] [k] のように)
- 答え合わせをする。

# TIME SCHEDULE

0	あいさつ・今回のめあて	2分
5	大問 1	9分
10	大問 2	3分
15	まとめ	1分

指導の手順

## 1 大問 1 をさせる

p.15 「ひとりでトライ」と同じ要領で進める。DVD の音声聞きながら書き込まないよう注意を促してから始める。

### 声のかけかた

長い単語は難しそうですが、音を1文字ずつ考えてみるとわかりますよ。



## 2 大問 2 をさせる

(1) 図形を黒板に書きながら、単語の発音を確認する。

star [stá:r]	(星形)
oval [óuvəl]	(楕円形)
triangle [trá:æŋgl]	(三角形)
circle [sé:rkl]	(円形)
hexagon [héksəgən]	(六角形)
diamond [dá:í(ə)mənd]	(ひし形)
rectangle [réktæŋgl]	(長方形)
square [skwéər]	(正方形)

(2) 単語と図形を線で結ばせる。

## Phonics 4

### 母音のまとめ

母音 a, e, i, o, u とつづりの関係をマスターしよう。

Date: / /

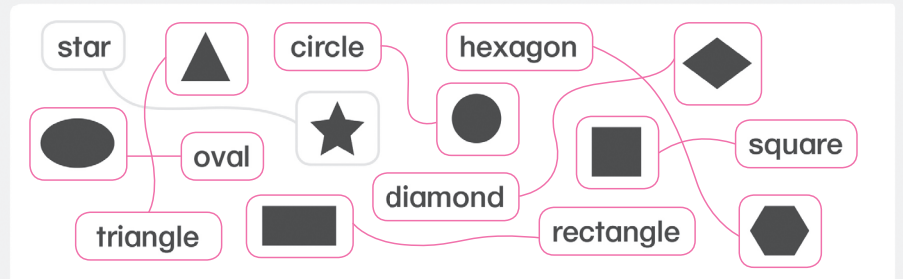
1 発音を聞いて、母音 (a, e, i, o, u) のいずれかを  に書こう。

1  m <u>e</u> l <u>o</u> n	2  sm <u>i</u> l <u>e</u>	3  p <u>u</u> mpk <u>i</u> n	4  c <u>a</u> m <u>e</u> r <u>a</u>	5 <u>t</u> en
6 <u>b</u> u <u>s</u>	7 <u>b</u> a <u>t</u>	8  m <u>a</u> gn <u>e</u> t	9  sn <u>a</u> k <u>e</u>	10  fl <u>u</u> te
11  p <u>e</u> nc <u>i</u> l	12  r <u>o</u> s <u>e</u>	13  wh <u>a</u> le	14  r <u>a</u> bb <u>i</u> t	15  Braz <u>i</u> l
16 <u>e</u> ggpl <u>a</u> nt	17  M <u>o</u> n <u>d</u> ay	18  h <u>e</u> l <u>i</u> copt <u>e</u> r	国名の最初の文字は大文字で書くよ	

曜日も大文字で始めるよ

終わったらいらう ///

2 何の形かな? ——で結ぼう。



NOTE to SELF | 指導するなかで思いついたことをメモしておきましょう

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



1つの音が「子音 + 母音」で成り立っている日本語とちがいで、英語は「子音」で終わることが多いということに気付こう。

子音を聞きとろう(1)

アルファベットの「子音」について理解し、子音 p と b をマスターし、正しくつづれるようになるろう。↑

Date: / /

<b>p</b> くちびるを閉じて すきまから勢いよく息を出す	<b>b</b> くちびるを閉じて すきまから勢いよく息と声を出す	<b>g</b> 口を開いたまま 奥のほうで「グ」	<b>c k q</b> 口の奥のほうで「ク」
---------------------------------------	---	---------------------------------	----------------------------

子音ってどんな音？

- そのままの音  
先生といっしょに発音してみよう ▶ map ▶ cup ▶ play
- 後ろの母音とつながった音  
p + a + t → p と後ろの「a」がつながると「パ」になる  
p + e + t → p と後ろの「e」がつながると「ペ」になる  
先生といっしょに発音してみよう ▶ pat ▶ pit ▶ pet ▶ pot

カタカナの発音にならないように気をつけよう



1 発音を聞いて、p, b, g, c, k, q のいずれかを□に書こう。

先生といっしょに 先生といっしょに	1 <input type="text"/> en	2 <input type="text"/> oy	3 <input type="text"/> olf	4 <input type="text"/> ag	5 <input type="text"/> up
先生といっしょに	6 <input type="text"/> rap es	7 <input type="text"/> ink	8 <input type="text"/> all	9 <input type="text"/> at	10 <input type="text"/> ook
先生といっしょに	11 <input type="text"/> ing	12 <input type="text"/> ueen	13 <input type="text"/> ig	14 <input type="text"/> ase ball	

終わったならやろう

2 1の単語を書き写そう。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

NOTE to SELF | 指導するなかで思いついたことをメモしておきましょう

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

TIME SCHEDULE

0	あいさつ・今回のめあて	2分
5	子音についての説明	4分
10	大問 1 (・2)	8分
15	まとめ	1分

指導の手順

1 子音について説明する

アルファベットの中で、母音 a, i, u, e, o 以外のものを子音という、ということを説明する。

2 本時のアルファベットを確認する

DVD で p, b, g, c, k, q の音を練習させる。

3 「子音ってどんな音？」を児童と一緒に確認する

- (1) 日本語は、ローマ字表記を見るとわかるように「子音 + 母音」で成り立っている。

板書のしかた

	子音	母音
「カ」	k	+ a
「キ」	k	+ i
「ク」	k	+ u
「ケ」	k	+ e
「コ」	k	+ o



- (2) 英語は、子音のあとに母音が来ない場合も多く、その場合の発音は子音のみで終わる。

【例】 map (地図)

日本語発音：mappu

英語発音：map

日本語発音の最後にある「u」のような母音を発音しないよう注意させる。

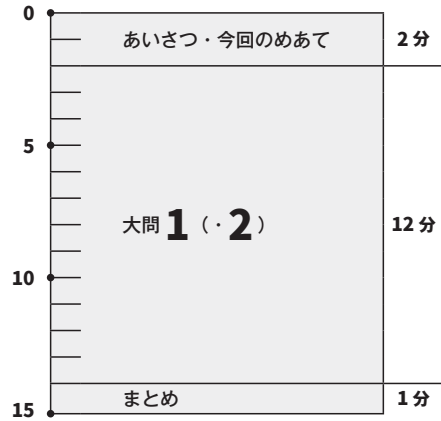
- (3) 上記のことを意識させながら発音させる。

4 大問 1 をさせる

DVD にしたがって進める。



# TIME SCHEDULE



## 1 本時のアルファベットを確認する

DVD で m, n, t, d の音を練習させる。

## 2 大問 1 をさせる

DVD にしたがって進める。

### 声のかけかた

どんなに長い単語でも、1 つずつゆっくり音を確認していけば、読んだり書いたりできるんだね。

## ★ 時間が余ったら

m, n, t, d で始まる単語を言わせてみるのも楽しい。

### 【例】

m	math	(算数, 数学)
	melon	(メロン)
	Mexico	(メキシコ)
	milk	(牛乳)
	mother	(お母さん)
	morning	(朝)
n	nature	(自然)
	night	(夜)
	no	(いいえ)
	noodle	(めん類)
	notebook	(ノート)
	nurse	(看護師)
t	taxi	(タクシー)
	tea	(お茶)
	telephone	(電話)
	television	(テレビ)
	test	(テスト)
	tiger	(トラ)
d	department store	(デパート)
	desk	(机)
	dictionary	(辞書)
	dinner	(夕食)
	doctor	(医者)
	dream	(夢)

## Phonics 6

### 子音を聞きとろう (2)

子音 m, n, t, g をマスターし、正しくつづれるようになろう。

Date: / /

m

くちびるを閉じて「ム」

n

くちびるを開いたまま「ヌ」

t

舌先を上歯のうらに軽くつけて息を出す

d

舌先を上歯のうらに軽くつけて息と声を出す

1 発音を聞いて、m, n, t, d のいずれかを□に書こう。

1



mop

2



snake

3



tomato

4



red

5



nine

6



duck

7



monkey

8



name

9



pot

10



moon

11



dolphin

12



money

13



ten

14



magnet

15



diamond

16



badminton

終わったらやろう

2 1 の単語を書き写そう。

Blank lines for writing practice.

NOTE to SELF | 指導するなかで思いついたことをメモしておきましょう

Dotted lines for note-taking.





# Break Time 4

Date:  /  /

単語探しゲームに挑戦しながら、音とつづりの関係を理解できたか実感しよう。

- 1 ①～⑤の絵を表す単語を書こう。  
また、右からその単語を見つけて○で囲もう。

①	→	<u>pink</u>	<table border="1" style="font-family: monospace; text-align: center;"> <tr><td>g</td><td>f</td><td>k</td><td>p</td><td>h</td><td>n</td><td>g</td></tr> <tr><td>i</td><td><u>p</u></td><td><u>i</u></td><td><u>g</u></td><td>b</td><td>r</td><td>d</td></tr> <tr><td>a</td><td>n</td><td>x</td><td>n</td><td>a</td><td>c</td><td>j</td></tr> <tr><td><u>p</u></td><td>m</td><td>u</td><td>p</td><td>i</td><td>n</td><td>w</td></tr> <tr><td>i</td><td>x</td><td>e</td><td>r</td><td>m</td><td>g</td><td>t</td></tr> <tr><td>n</td><td><u>s</u></td><td><u>i</u></td><td><u>x</u></td><td><u>t</u></td><td><u>y</u></td><td>u</td></tr> <tr><td>k</td><td>a</td><td>c</td><td>i</td><td>l</td><td>o</td><td>g</td></tr> </table>	g	f	k	p	h	n	g	i	<u>p</u>	<u>i</u>	<u>g</u>	b	r	d	a	n	x	n	a	c	j	<u>p</u>	m	u	p	i	n	w	i	x	e	r	m	g	t	n	<u>s</u>	<u>i</u>	<u>x</u>	<u>t</u>	<u>y</u>	u	k	a	c	i	l	o	g
g	f	k		p	h	n	g																																													
i	<u>p</u>	<u>i</u>		<u>g</u>	b	r	d																																													
a	n	x		n	a	c	j																																													
<u>p</u>	m	u		p	i	n	w																																													
i	x	e		r	m	g	t																																													
n	<u>s</u>	<u>i</u>	<u>x</u>	<u>t</u>	<u>y</u>	u																																														
k	a	c	i	l	o	g																																														
②	→	<u>pig</u>																																																		
③	→	<u>grapes</u>																																																		
④	→	<u>ant</u>																																																		
⑤	→	<u>sixty</u>																																																		

- 2 単語探しパズルを作って遊ぼう。

- ① 次の①～⑤の絵を表す単語を完成させ、右の□に1文字ずつ書こう。

①	→	<u>t e n</u>	<table border="1" style="width: 100%; height: 150px;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>																																			
②	→	<u>h a n d</u>																																				
③	→	<u>s t a r</u>																																				
④	→	<u>p a n d a</u>																																				
⑤	→	<u>o n i o n</u>																																				

- ② 残りの□にいろいろなアルファベットを小文字で書こう。

- ③ 本を友達と交換して、①～⑤の単語を見つけよう。



**NOTE to SELF** | 指導するなかで思いついたことをメモしておきましょう

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

## TIME SCHEDULE

0	あいさつ・今回のめあて	2分
5	大問 1・友達とチェック	5分
10	大問 2	7分
15	まとめ	1分

指導の手順

### 1 大問 1 をさせる

- (1) まずは絵を見て、単語を小文字で書かせる。正しい書き順で正しい位置に書いているか、机間指導をして確認する。
- (2) 右のパズルの中から、単語を探して○で囲ませる。
- (3) 時間が来たら隣の友達と本を交換させ、お互いにチェックさせ合う。

### 2 大問 2 をさせる

- (1) まずは絵を見て、単語を完成させる。
- (2) 5つの単語を、右のパズルの好きな場所に小文字で埋めさせる。

**声のかげかた**

タテ、ヨコ、ナナメのどの向きに書いても構いませんが、単語が途中で曲がったり、右から左に書いたりはしないようにしましょう。

t			
e	n		
d	n	a	h

- (3) 残ったマスに、任意のアルファベットを小文字で入れて完成させる。
- (4) できた児童から友達と本を交換させ、解かせ合う。











# 特別な子音を聞きとろう(2)

2文字で1つの音になる子音を知り、読んだり書いたりできるようになろう。

<b>sh</b> <small>歯のすきまから「シ」と息を出す</small>	<b>ch</b> <small>日本語の「チ」に近い音</small>	<b>ck</b> <small>ほかの音とつながって「ック」の音を出す</small>	<b>th</b> <small>上下の歯で軽く舌先をかみ息または声を出す</small> <small>発音して みよう</small>
---	---	---	---

1 それぞれの単語から sh, ch, ck, th を見つけて        で囲もう。また、先生といっしょに発音して、何を表しているかを  に書こう。

<small>1</small> [fɑ:ðər] <b>father</b> お父さん	<small>2</small> [ʃi:p] <b>sheep</b> ひつじ	<small>3</small> [lʌntʃ] <b>lunch</b> 昼食		
<small>4</small> [rɒkɪt] <b>rocket</b> ロケット	<small>5</small> [fɪfθ] <b>fifth</b> 5 番目	<small>6</small> [ʃʌvəl] <b>shovel</b> シャベル	<small>7</small> [tʃɒpstɪks] <b>chopsticks</b> 箸	<small>8</small> [θɜ:rzdi] <b>Thursday</b> 木曜日

2 先生が言う単語をよく聞いて、正しいほうを        で囲もう。

<small>1</small> <input type="text"/> <b>black</b> blach	<small>2</small> <input type="text"/> <b>bookshop</b> bookchop	<small>3</small> <input type="text"/> <b>kitshen</b> kitchen	<small>4</small> <input type="text"/> <b>kich</b> kick
<small>5</small> <input type="text"/> <b>chark</b> shark	<small>6</small> <input type="text"/> <b>Thursday</b> Chursday	<small>7</small> <input type="text"/> <b>truck</b> trush	<small>8</small> <input type="text"/> <b>ckip</b> ship

終わったらやろう

3 次の単語と絵を ——— で結ぼう。

bird shark plane ship		beach sun fish rocket
--------------------------------	--	--------------------------------

**NOTE to SELF** | 指導するなかで思いついたことをメモしておきましょう

.....

.....

.....

.....

.....

.....

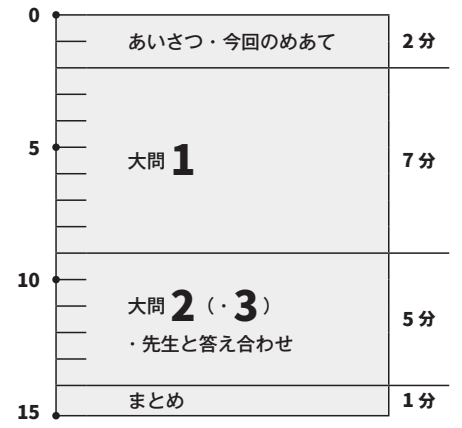
.....

.....

.....

.....

## TIME SCHEDULE



**1 本時のアルファベットを確認する**  
 DVD で sh, ch, ck, th の音を練習させる。

**2 大問 1 をさせる**  
 (1) ①～⑧の単語の中から、sh, ch, ck, th を見つけて        で囲ませる。  
 (2) 児童に考えさせながら 1 つずつ読み、日本語を書き込ませる。

**3 大問 2 をさせる**  
 (1) DVD を再生し、リスニングクイズをさせる。

**問題の進めかた**

DVD からは、  
 Number one. Black. Black. <sup>5秒</sup>

Number two. Bookshop.  
 Bookshop. <sup>5秒</sup>

のように音声が行るので、児童には単語が 2 回聞こえたあとの 5 秒間で正しいほうを        で囲ませる。

(2) ⑧まで終わったら答え合わせをする。

**4 大問 3 をさせる**  
 時間が余ったら、大問 3 をさせる。





音とつづりの関係のまとめ(3)

Date:  /

音とつづりの関係のまとめをしよう。わからないことはしっかり確認し、理解しておこう。

1 数を表す単語と☆☆を——で結ぼう。

2 発音を聞いて、次の単語を完成させよう。

3 絵に合う単語になるように、文字をならべかえよう。

友達と答え合わせをしよう  
いくつできたかな?  
/7問

NOTE to SELF

指導するなかで思いついたことをメモしておきましょう

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

TIME SCHEDULE

0	あいさつ・今回のめあて	2分
2	大問 1	2分
5	大問 2	3分
12	大問 3・友達とチェック	7分
15	まとめ	1分

指導の手順

① 大問 1 をさせる

★とその数を表す単語を線で結ばせる。

② 大問 2 をさせる

「ひとりてトライ」と同じ要領で進める。  
(→ p.15 参照)

③ 大問 3 をさせる

- ①～⑦まで解かせる。
- 5分経ったら近くの友達と本を交換させ、1つ1つの単語や文字をチェックさせる。

声のかけかた



文字がきちんと書けているか、厳しくチェックしてあげましょう。気付いたことはコメントを書き添えてあげましょう。

# TIME SCHEDULE

0	あいさつ・今回のめあて	2分
5	大問 1・先生と答え合わせ	3分
10	大問 2・先生と答え合わせ	5分
15	大問 3	4分
20	まとめ	1分

指導の手順

## 1 大問 1 をさせる

- (1) DVD を再生し、リスニングクイズをさせる。

問題の進めかた

DVD からは、

Number one. Map. Map.

5秒

Number two. Can. Can.

5秒

のように音声流れるので、児童には単語が2回聞こえたあとの5秒間で正しいほうを○で囲ませる。

- (2) ⑩まで終わったら答え合わせをする。

## 2 大問 2 の①をさせる

- (1) 指導書の解答の数字の順番に、担任が出題する。

問題の進めかた

Number one. Friday. Friday.

2秒

Bus. Bus. Camera. Camera.

2秒

2秒

Moon. Moon.

2秒

のように単語を読み上げ、児童には単語が2回聞こえたあとの2秒間で□に数字を書き込ませる。

- (2) ①の答え合わせをして、児童が解き方を理解したかどうか確認する。  
(3) ②～⑤を続けて行い、答え合わせをする。

## 3 大問 2 の②をさせる

## 4 大問 3 をさせる

Phonics 14

### 音とつづりの関係のまとめ(4)

Date: / /

慣れ親しんだ単語について、音からつづりを考えよう。わからないことはしっかり確認し、理解しておこう。

- 1 先生が言う単語をよく聞いて、正しいほうを○で囲もう。

1 mat map	2 can cat	3 hat fat	4 bus base	5 June July
6 peach pink	7 fifteen fifty	8 ship sheep	9 test text	10 baseball basketball

- 2 次の①と②に答えよう。

- ① ①～⑤の単語について、先生が言う順番に□に数字を書こう。

① 4 moon [mú:n]	1 Friday [fraidi]	2 bus [bʌs]	3 camera [kæm(ə)rə]
② 1 tomato [təmeitou]	3 tree [tri:]	2 train [trein]	4 ten [tɛn]
③ 2 desk [dɛsk]	4 eraser [ireisə]	1 chalk [tʃɔ:k]	3 paper [peipə]
④ 1 melon [mɛlən]	4 taxi [tæksi]	3 pasta [pá:stə]	2 candy [kændi]
⑤ 3 bench [bɛntʃ]	1 rocket [rákit]	2 shop [ʃáp]	4 three [θri:]

- ② ①の単語の中から、「食べ物」と「乗り物」を表す単語を探して□に書こう。

Foods	tomato	melon	pasta	candy
Vehicles	bus	train	taxi	rocket

- 3 見出しの語と仲間の単語はどれかな? 探して○で囲もう。

Colors	Flowers	Subjects
red hand dog racket black silver golf gold green horse	lily bed cosmos notebook onion tennis boy tulip rose rabbit	fish English pet music octopus smile brush P.E. math eraser

NOTE to SELF | 指導するなかで思いついたことをメモしておきましょう

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....







Gojun 1

# 日本語と英語のちがいに気付こう (1)

Date:  /  /

日本語と英語では語順がちがうということに気がつき、伝える英語を話したり書いたりできるようになる。

はじめに 日本語の文ではかかれていない「だれは」や「だれが」を見つけよう

「主語」っていうよ



ぼくは 野球やってるんだ。 あなたは スポーツ好き？

ぼくは 好きだよ。 ぼくは サッカーやってるんだ。



「だれは」や「だれが」は  
日本語では かかれることがよくありますが  
英語では いつも 必要ですよ



I play baseball. Do you like sports?

Yes, I do. I play soccer.

主語を見つけて  
出発しよう!



1 日本語の文と英語の文を見くらべて、必要な日本語を  に補おう。



① この前の日曜日 /  私は / 動物園に / 行ったよ。

I / went / to the zoo / last Sunday.



② 毎朝 /  ぼくは / 牛乳を / 飲んでます。

I / drink / milk / every morning.



③  あなたは / ピアノ / ひける？ — うん、 /  私は / ひけるよ。

Can / you / play / the piano? — Yes, / I / can.

2 先生が言う日本語の会話をよく聞いて、かかれている主語は何か考えよう。  
また、気付いたことを発表し合おう。

気付いたことを書いてみよう

- ・日本語は主語がなくても伝わる
- ・英語にするときには、主語が何になるか考えなければならない など

## NOTE to SELF | 指導するなかで思いついたことをメモしておきましょう



私は  あなたは   
きのう駅で見かけたよ。どこに行ったの？



私は   
お母さんと買い物に行ったの。



あなたは   
何か買ってもらった？



私は   
新しいマフラーを買ってもらったよ。



それは   
よかったね。お母さんは何か買ったの？



お母さんは   
何も買わなかったよ。



## TIME SCHEDULE

0	あいさつ・今回のめあて	2分
5	p. 33 はじめに 大問 1 (・2)	6分
10	p. 34 STEP 1 大問 1・2	6分
15	まとめ	1分

指導の手順

1

「Gojun」の章で学んでほしいこと(めあて)を確認する

日本語と英語では言葉を並べる順番がちがう、ということに気付かせる。

声のかけかた

言葉を並べる順番のことを「語順」と言います。



2

「はじめに」の内容を児童と一緒に確認する

日本語は主語が欠落しがちな言語である、ということに気付かせる。

声のかけかた

「きのう、何してた?」「ゆうべのバラエティ番組見た? おもしろかったよね」など、「～は」にあたる言葉は省略してしまうのですね。



3

p. 33の大問 1 をさせる

4

p. 33の大問 2 をさせる

- (1) 黒板に、左のやりとりを書く。(黒字部分のみ)
- (2) 近くの友達と相談しながら、どこにどんな主語が入るか考えさせる。
- (3) 黒板に  などを使って書き加えさせる。

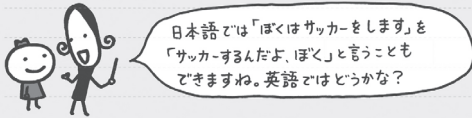


## 日本語と英語のちがいに気付こう(3)

Date:  / 

語順をマスターして、言いたいことを正しく伝えることができるようになろう。

## STEP 2 「だれは・だれが」の位置に気をつけよう

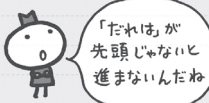


soccer サッカーを	play します	I ぼくは	...
-----------------	-------------	----------	-----



↓ でもこの順番なら!

I ぼくは	play します	soccer サッカーを	...
----------	-------------	-----------------	-----

1 英語の文をよく聞いて、その内容と合っているほうの  に✓を書こう。

1

2

3

4

5

英語は位置をまちがえるとたいへんだ!

2 先生が黒板に書いた日本語の文の下に、英語の語順になるように①②③を書こう。

例 先生は ① 体育が ③ 得意です。 ②

NOTE to SELF | 指導するなかで思いついたことをメモしておきましょう

## 【大問2の文例】

・ ぼくの弟は たくさんのマンガを 持っています。

① ③ ②

・ お父さんは 印刷会社に 勤めています。

① ③ ②

・ 5ひきの赤ちゃんを うちのポチは 産みました。

② ① ③

## TIME SCHEDULE

0	あいさつ・今回のめあて	2分
5	STEP 2 大問 1・先生と答え合わせ	7分
10	大問 2	5分
15	まとめ	1分

指導の手順

## 1 「STEP 2」の内容を児童と一緒に確認する

## 声のかけかた

みなさん、「私はピアノをひきます」は英語で何と言いますか?

...

そうですね、I play the piano. ですね。ほら、「だれが」→「どうする」→「何を」の順ですよ。

## 2 大問 1 をさせる

## 声のかけかた

「だれが」「だれを」に注意して、よく聞きましょう。

【出題文】

- I am watching TV.
- Mie is holding a cat.
- A rabbit is chasing a turtle.
- Kota is calling his mother.
- Ken is talking to Yumi.

①～⑤が終わったら、答え合わせをする。

## 3 大問 2 をさせる

(1) 例文をいくつか考えて、黒板に1つずつ書く。

## 注意すること

例文は、「だれが」「どうする」「何を」という構成の文にする。

(2) 児童を指名して、黒板に答えを書かせる。







# TIME SCHEDULE

0	あいさつ・今回のめあて	1分
5	大問 1 (自己紹介文の作成)	8分
10	大問 2 (自己紹介)	5分
15	まとめ	1分

指導の手順

## 1 自己紹介の仕方を確認する

### 声のかけかた

友達に会ったらまず、元気よく Hello. と声をかけましょう。次に、自分の名前です。大切な名前なので、相手に聞き取りやすいようにゆっくり言いましょう。好きなものや苦手なものを伝えたら、最後はにこやかに握手をして終わらしましょう。



## 2 自己紹介文を作成し、練習させる

- (1) 自己紹介文を作成させる。p.39 の語彙などを参考に、②や③は自分の好きなものや苦手なものについて、④は自分のできることについて書かせる。
- (2) 自己紹介文の作成が終わった児童には、声に出して練習するよう指示する。

## 3 クラスの友達とおたがいに自己紹介させる

教室を歩き回って、友達とお互いに自己紹介をさせる。自己紹介が終わるたびに、自分の本に相手の名前を書いてもらい、感想を伝え合うよう指示する。

# Let's try! 2

Date: ○ / ○ / ○

自己紹介の文を英語で書けるようになったことを実感しよう。友達と楽しく会話をしよう。

- 1 それぞれの例文を参考に、自己紹介の文を書いてみよう。

1 Hello. My name is Yuko. I'm twelve.

① Hello. My name is Hideyuki. I'm eleven.

[作文例]

2 I like pasta. I like drawing pictures.

② I like cats. I like playing baseball.

[作文例]

3 I don't like math. I don't like carrots.

③ I don't like cockroaches. I don't like onions.

[作文例]

4 I can cook dinner. I can swim very well.

④ I can speak English. I can dance very well.

[作文例]

5 Nice to meet you. Thank you.

⑤ Nice to meet you. Thank you.

[作文例]

- 2 友達とおたがいに自己紹介をして、終わったらその友達の名前を書いてもらおう。




自己紹介をするときはこの3つに気をつけよう

- Smile
- Eye contact
- Clear voice

NOTE to SELF | 指導するなかで思いついたことをメモしておきましょう

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



